

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月19日 (2018.7.19)

【公開番号】特開2018-87246(P2018-87246A)

【公開日】平成30年6月7日 (2018.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2018-021

【出願番号】特願2018-35032(P2018-35032)

【国際特許分類】

A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 2 3 L	33/105	(2016.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/381	(2006.01)
A 6 1 K	31/7004	(2006.01)
A 6 1 K	31/122	(2006.01)
A 6 1 K	31/121	(2006.01)
A 6 1 K	31/047	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)
A 6 1 K	36/31	(2006.01)
A 6 1 K	36/752	(2006.01)
A 6 1 K	36/87	(2006.01)
A 6 1 K	36/63	(2006.01)
A 6 1 K	36/185	(2006.01)
A 6 1 K	36/79	(2006.01)
A 6 1 K	36/258	(2006.01)
A 6 1 K	36/53	(2006.01)
A 6 1 K	36/736	(2006.01)
A 6 1 K	36/07	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 K	47/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 P	39/06	(2006.01)
A 6 1 P	39/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	48/00
A 2 3 L	33/105
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	31/381
A 6 1 K	31/7004
A 6 1 K	31/122

A 6 1 K	31/121	
A 6 1 K	31/047	
A 6 1 K	31/05	
A 6 1 K	36/31	
A 6 1 K	36/752	
A 6 1 K	36/87	
A 6 1 K	36/63	
A 6 1 K	36/185	
A 6 1 K	36/79	
A 6 1 K	36/258	
A 6 1 K	36/53	
A 6 1 K	36/736	
A 6 1 K	36/07	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	47/38	
A 6 1 K	47/04	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 K	47/24	
A 6 1 P	39/06	
A 6 1 P	39/02	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の作用因子を含む経口製剤であって、該複数の作用因子は、ブロッコリー種子抽出物、レッドオレンジ抽出物およびブドウ種子抽出物を含み、被験体により該経口製剤が摂取されると、該複数の作用因子のうちの少なくとも1つが、N r f 2 関連遺伝子の発現をモジュレートし、該 N r f 2 関連遺伝子は、内在性の抗酸化物質をコードする少なくとも1つの遺伝子、および細胞性解毒物質をコードする少なくとも1つの遺伝子を含み、該複数の作用因子のうちの少なくとも1つは炎症を弱める、経口製剤。

【請求項 2】

前記 N r f 2 関連遺伝子が、N F E 2 L 2、G C L M、G C L C、G S R、G S T A 1、G P X 1、G P X 4、H M O X 1、N O O 1、S R X N 1、S O S T M 1、S O O 1、U G T 1 A 6、N O S 2、N O S 3 および P T G S 2 からなる群から選択される、請求項 1 に記載の経口製剤。

【請求項 3】

前記複数の作用因子のうちの少なくとも1つが、前記 Nrf2 関連遺伝子のうちの少なくとも1つの発現における年齢関連の変化を実質的に逆転させる、請求項2に記載の経口製剤。

【請求項 4】

前記複数の作用因子が一緒になって少なくとも5つの Nrf2 関連遺伝子の発現をモジュレートする、請求項1に記載の経口製剤。

【請求項 5】

前記複数の作用因子のうちの少なくとも1つが、内在性の抗酸化物質をコードする遺伝子もしくは細胞性解毒物質をコードする遺伝子を上方制御するか、または、被験体の組織における自己貪食を刺激する、請求項1に記載の経口製剤。

【請求項 6】

前記複数の作用因子は、リボ酸、ブドウ全体の抽出物、オリーブ葉抽出物、オリーブ果実抽出物、コエンザイム Q₁₀、ザクロ抽出物、クルクミン、EGCG、ルテイン、リコペン、ゼアキサンチン、レスベラトロール、五味子抽出物、酸果桜桃、チョウセンニンジン、ローズマリー抽出物および Cordyceps sinensis のうちの少なくとも1つをさらに含む、請求項1に記載の経口製剤。

【請求項 7】

20重量%から30重量%までのブロッコリー種子抽出物、25重量%から35重量%までのレッドオレンジ抽出物、および45重量%から55重量%までのブドウ種子抽出物を含む、請求項1に記載の経口製剤。

【請求項 8】

カプセル剤、錠剤、散剤、飲料、ウエハー、菓子類、チュアブル剤、ゲル剤、ペースト剤、エリキシル剤、シロップ剤、ドロップ剤およびロゼンジ剤からなる群から選択される剤形で存在する、請求項1に記載の経口製剤。

【請求項 9】

微結晶性セルロース、二酸化ケイ素、ステアリン酸、食品グレードのガム、レシチンおよび固結防止剤からなる群から選択される少なくとも1つの賦形剤をさらに含む、請求項1に記載の経口製剤。

【請求項 10】

治療に使用するための、請求項1～9のいずれか一項に記載の経口製剤。

【請求項 11】

被験体の細胞における治療的解毒の促進に使用するための、請求項1～10のいずれか一項の経口製剤。

【請求項 12】

被験体の細胞における解毒のための、請求項1～9のいずれか一項に記載の経口製剤の使用。

【請求項 13】

前記複数の作用因子が一緒になって少なくとも5つの Nrf2 関連遺伝子の発現をモジュレートする、請求項10または11に記載の使用のための経口製剤。

【請求項 14】

前記複数の作用因子のうちの少なくとも1つが、前記被験体の組織における自己貪食を刺激する、請求項10または11に記載の使用のための経口製剤。

【請求項 15】

投与によって、

125mgのレッドオレンジ抽出物、210mgのブドウ種子抽出物および115mgのブロッコリー種子抽出物の日投薬量；または

0.15mgから18mgのレッドオレンジ抽出物、0.3mgから30mgのブドウ種子抽出物、および0.15mgから16.5mgのブロッコリー種子抽出物の体重1kgあたりの投薬量

が前記被験体に提供される、請求項 10 または 11 に記載の使用のための経口製剤。

【請求項 16】

被験体における健康を促進する方法において使用するための、代謝性能を強化する複数の作用因子を含む性能強化製剤、および、請求項 1～9 のいずれかに記載の解毒製剤であって、該方法は、

該被験体に性能強化製剤および解毒製剤を投与することを含み、該解毒製剤が、該被験体への該性能強化製剤の投与から 24 時間以内に該被験体に投与される、製剤。